

令和3年度 北海道札幌白石高等学校 第1回評議員会 記録

- 1 期 日：令和3年10月12日（火）14:30～16:40
- 2 会 場：北海道札幌白石高等学校 会議室
- 3 出席者：評議員5名、学校担当者5名 計10名
- 4 次 第
 - (1) 校長挨拶
 - (2) 出席者自己紹介
 - (3) 授業（LHR）見学
 - (4) 議題
 - ① 学校経営方針およびスクールミッション
 - ② 学校状況について
 - ③ 本校の教育活動・課題等について（協議）

【協議内容】

- 自転車通学時のマナーについて
 - ・自転車通学の生徒が多く、道幅、歩道も狭いことから心配をしている。近隣小学生の登校と重なることも心配だが、お互い決められた通行マナーを守っている。
 - ・自転車通学は、車から見ると危なさを感じる。
- 公園の利用等
 - ・コロナ禍で、利用者自体が少ないが、白石高校の生徒は声をかけたら、挨拶をしてくれる。ほとんどの生徒が、マナーを守り利用している。
 - ・オリンピックの影響もあり、公園でのスケートボードの利用マナーが問題になっている。他の利用者に迷惑をかけない利用が望まれる。
- 学校生活
 - ・対面授業を見学し、通常的生活を送れるようになってきたことを感じる。コロナの影響で自宅にこもりがちなることで、生活のリズムを乱してしまう生徒も多いと説明があったが、高校に通う生活が続くことを願っている。これまで様々な制約を受け我慢してきた生徒達を盛り上げるような取組を期待する。
- 選ばれる学校とは
 - ・進学する学校の「どこを重視する」「何に期待する」など、こどもの理想と保護者の理想が、異なるのではないか。
 - ・大学でも10年以上前から、受験生・親が大学に何を求めているかを見極めることが重要ととらえ、それを踏まえた情報発信に力を入れている。
 - ・生徒が楽しく学べる授業づくりが重要ではないか。
- 学校のルール・校則等について
 - ・学校を選ぶ側にとっては、校風や校則も1つのポイントになるのではないか。
 - ・ある程度よりかかることができるルールの存在が、生徒にとって「生活のしやすさ」につながることもある。
 - ・頭髪の乱れなどは、地域の信頼を失うことにつながるのではないか。
 - ・制服の制定については、性的マイノリティーに配慮した検討も必要である。継続的な検討を望む。

- (5) 校長挨拶

- 5 今後の日程
 - 令和3年11月10日（水） 学校評議員・PTA 役員合同会議
 - 令和4年3月 第2回学校評議員会（学校評価について）